



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2022年10月公表分)

【概況】

長崎県の景気は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、感染症の影響が一段と和らぐ中で、全体として持ち直している。

最終需要面をみると、個人消費は、持ち直しの動きが続いている。観光は回復している。住宅投資は横ばい圏内で推移している。公共投資は弱めの動きとなっている。設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。企業の業況感は、物価上昇の影響から改善のペースが鈍化している。雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きが続いている一方、雇用者所得は依然として弱い動きとなっている。消費者物価指数は前年を上回った。

先行きについては、西九州新幹線の開業や旅行需要喚起策等の効果が期待される一方で、物価上昇、供給制約、海外の金融経済情勢等が、企業収益や個人消費に及ぼす影響を注視していく必要がある。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ(<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>)にも掲載しています。



1. 需要項目別動向

個人消費は、持ち直しの動きが続いている。財消費は、一部に物価上昇の影響がみられるものの、全体として堅調に推移している。サービス消費は、持ち直しの動きが広がっている。

8月の商業動態統計は、前年を上回った。9月の乗用車新車登録台数は、前年を上回った。

観光は、回復している。

8月の主要ホテル・旅館宿泊者数、主要観光施設入場者数は、前年を上回った。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

8月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

公共投資は、弱めの動きとなっている。

9月の公共工事請負金額は、前年を上回った。

設備投資は、大型案件が寄与して大幅に増加している。

2022年度の設備投資（2022年9月短観）は、前年度を上回る計画となっている。

8月の建築物着工床面積は、前年を下回った。

2. 生産

生産は、電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。

主要業種別にみると、電子部品・デバイスは増加している。機械・重電（原動機、大・中型モーター、冷熱機器）は、減少が続いている。造船は、横ばい圏内で推移している。

3. 雇用・所得

雇用・所得環境をみると、労働需給は改善の動きが続いている一方、雇用者所得は依然として弱い動きとなっている。

8月の有効求人倍率は、1.15倍となった。7月の雇用者所得は、前年を下回った。

4. 物価

8月の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年を上回った。

5. 金融

8月の総預金および貸出金は、いずれも前年を上回った。

6. 企業倒産

9月の県内企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数は前年を下回った一方、負債総額は前年を上回った。

〈 景気判断の比較 〉

	前回 (2022年9月公表分)	今回 (2022年10月公表分)
景気全体 (引き上げ) (4か月ぶり)	緩やかに持ち直している。	<u>一部に物価上昇の影響がみられるものの、感染症の影響が一段と和らぐ中で、全体として持ち直している。</u>
個人消費 (引き上げ) (5か月ぶり)	全体として持ち直しの動きが続いているものの、感染症拡大の影響により一部に足踏み感がみられている。	<u>持ち直しの動きが続いている。</u>
観光 (引き上げ) (4か月ぶり)	持ち直している。	<u>回復している。</u>
住宅投資 (据え置き)	横ばい圏内で推移している。	横ばい圏内で推移している。
公共投資 (据え置き)	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
設備投資 (据え置き)	大型案件が寄与して大幅に増加している。	大型案件が寄与して大幅に増加している。
生産 (据え置き)	電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。	電子部品・デバイスの好調を主因に、緩やかに増加している。
雇用・所得 (表現変更)	労働需給は改善の動きに拮抗がみられる一方、雇用者所得は弱い動きが続いている。	<u>労働需給は改善の動きが続いている一方、雇用者所得は依然として弱い動きとなっている。</u>

(注) 下線は、前回からの変更・追加。